



手をつなごう 世界のなかま

NPO法人宇都宮市国際交流協会会報

Utsunomiya City International Association NonProfit Organization

No.74
March
2026

Contents

| | |
|--|---|
| 外国人支援者ネットワーク、七五三体験 1 | 日本料理教室 5 |
| オルレアン市 USO 剣道クラブ受入事業 2 | 世界の絵本を楽しもう! 6 |
| オルレアン市への青少年派遣事業 3 | 日本文化ふれあいの会 7 |
| 外国人による日本語学習発表会、日本語ボランティアのためのレベルアップ講座 4 | お知らせ フェスタmy 宇都宮国際交流ひろば 8 |

第5回外国人支援者ネットワーク

実行委員 室伏 智子

2025年12月6日(土)に総合コミュニティセンターで開催された外国人支援者ネットワークイベントに参加しました。30名が参加し、外国人支援に関わっている方や関心を持っている方など、出身や職業、年齢、性別もさまざまな人々が集まりました。

第1部では、栃木県カウンセリング協会の小久保麻紀さんより、心の悩みを抱える方への寄り添い方や、必要に応じて専門機関につなぐ大切さを学びました。相手の気持ちを尊重して話を聞く重要性を改めて感じ、英語や通訳付きのカウンセリングも可能であることから、外国人支援の可能性が広がると感じました。

第2部では、コミュニティ・ヘルス・ミュージシャンのネイト・コッツォリーノさんによるワークショップが行われ、替え歌を作ったり歌ったりするなど、参加型の音楽活動を通じてグループ全体で親睦を深めました。

後半は、台湾出身の伊澤愛さんお手製の台湾ルーロー飯や杏仁豆腐を味わいながら楽しく交流でき、音楽や食文化を通じて自然に人とつながることができました。

今回のイベントを通して、国際性や多様性を重んじること、そして人と人とのつながりや互いに理解し支え合う場の大切さを改めて認識しました。



七五三のお祝いをしましょう!



2025年11月15日(土)に日本文化委員会との共催で16名の外国人親子が七五三を体験し、子供の成長をお祝いしました。

着物着付けの中坪良子先生と12名のボランティアが、参加者に七五三の伝統について説明した、振袖や羽織袴を着付けました。

参加者は「貴重な経験ができた」と喜び、先生方に心から感謝をしていました。

フランス・オルレアン市 USO 剣道クラブ受入事業

令和7（2025）年10月25日（土）～11月2日（日）

副実行委員長 杉本 恵子

10月25日（土）18時20分、小雨降る中、オルレアン市USO剣道クラブの11名の皆さんは、マロニエ号で宇都宮駅西口に到着しました。お手製のウェルカムボードを持つホストファミリーとご対面、そのまま各ホスト家庭へ、翌日曜日は、それぞれの家族とゆっくり過ごしました。月曜日からは午前中と夕方は剣道の練習、午後は、武道具店、街中散策、市長表敬訪問、市内大谷観光、茶道体験、そしてカラオケ等を楽しみました。

剣道稽古では、栃木県警、市剣道連盟、栃木県高齢者剣友会、栃木県体レディース、守道館の皆さん、作新学院高等学院、文星芸術大学附属高等学校にお世話になりました。

また、10月29日（水）は、一日日光観光、色づき始めた紅葉の中、輪王寺や田母沢御用邸の見学をしました。一週間の最後金曜日の夜に開催されたお別れ会では、ホストファミリーと一緒に壇上で挨拶する姿から、剣道クラブの皆さん、ホストファミリーの皆さんともに楽しかった、そして充実していた一週間だったことが伺えました。

翌日、土曜日は家族と過ごし、日曜日朝10時過ぎに宇都宮駅に集合し、東京へ向かう皆さんを見送りました。剣道クラブの皆さまとの出会いはもちろん、実行委員の皆さま、ホストファミリーの皆さま（終了後お互いの受入れをシェアすることもできました）、改めて素敵な出会いをありがとうございました。



到着！ ホストファミリーと実行委員がウェルカムボードでお出迎え



訪問メンバーと生徒さんたちで剣道稽古のあとの記念撮影



日光東照宮で記念撮影

フランス・オルレアン市への青少年派遣事業

令和7（2025）年11月13日（木）～11月20日（木）

実行委員長 大塚 初恵

オルレアン市への青少年派遣事業は今回で26回目となります。宇都宮市とオルレアン市が姉妹都市として提携した1989年以来、交流事業のメイン事業として宇都宮市が計画し、オルレアン市当局のご理解ご支援をいただき、実施している事業です。



実行委員長による説明

派遣期間は11月13日（木）から11月20日（木）の8日間です。

広報で派遣生を募集し、今回の派遣生は9名で全員女性です。引率者2名（市職員）が決定。そのうちのお一人はオルレアン派遣引率3回目で心強い限りです。保護者を交えての事前説明会を経て、第1回事前研修会9月21日（日）から、第4回事前研修会10月26日（日）まで、全4回をボランティアの実行委員9名が担当し、実行委員会で話し合い創意工夫を凝らして、毎回楽しい研修会を目指しております。帰国後の事後研修会12月14日（日）は最後の研修会で、派遣生の楽しかった報告書作成になり、そのお手伝いをします。

オルレアン市での滞在日程では、ホームステイをしてホストファミリーと過ごし、サントクロワ・サントヴェルト高校で自己紹介の発表をし、路面電車（トラム）でオルレアン大学に移動し昼食を食べ、大学生・ヴォルテール高校生達とグループ毎に自由にディスカッションをしました。その後、グロロ邸での歓迎セレモニーでは、仏語・日本語の歌を披露しました。



書道講師を招いての研修風景

パリへ電車で移動し、水上バス（バトビュス）にてパリ見学を楽しみ、パリのクリスマスマーケットの華やかで特別な雰囲気も満喫できました。オルレアン市日仏交流協会メンバーと楽しく雑談をしながらフランス料理を作り、オルレアン市内のスーパー（カルフル・モノプリ）で日本の家族へのお土産を購入し、フランスのお菓子、チョコレート、パン、チーズ、バターなどを美味しく味わい幸せな時間を過ごしました。盛りだくさんの日程をオルレアン市日仏交流協会が組んでくださいました。



現地で披露する歌の練習風景

派遣生の皆さんは、オルレアン市での派遣を通して、異文化での体験で視野を広げ、新たな自己を発見し、いつも、どこでも感謝の気持ちを忘れず、豊かな未来に羽ばたいてください。

私は今までオルレアン市に3回訪仏しましたが、今年の4月に「派遣生の足跡をたどる」オルレアン市に「暮らすように旅をする」を予定しております。

「楽しい姉妹都市交流委員会」もオルレアン市に今後、訪問することを検討中です。すべての皆さまに感謝いたします。お読みくださり、ありがとうございました。



佐藤市長と帰国報告会で記念撮影



実行委員と記念撮影



前年度派遣生と記念撮影

第5回外国人による日本語学習発表会

実行委員 福地 仁子

2025年11月9日（日）、国際交流プラザにおいて「第5回外国人による日本語学習発表会」が開催されました。この発表会は、日本語教室で学ぶ外国人が、日頃の学習の成果を披露するとともに、国籍や文化の違いを超えて、国際交流を深めるための場でもあります。

今回参加して下さった人たちは、ベトナム、台湾、インド、タイ、バングラデシュ、イタリアからの学習者11名でした。

発表のテーマはさまざまです。外国人ならではの視点で、日本語や日本の文化、習慣について、彼らが学習した日本語で発表しました。また、旅行で感じた日本についてのスピーチもありました。参加者唯一の小学生は、多忙だけれど、充実した学校生活をいきいきと表現してくれました。発表者は慣れない舞台上緊張した表情でしたが、発表を終えるとほっとした笑顔になり、会場にきてくれた家族、友人、そして日本語支援者の温かい拍手に包まれていました。この経験をとおして、学習者の日本語はいっそう上達しました。そして、支援者も日本語支援での気づき、学びを多く得られました。次回も多くの方の参加を期待しております。



日本語教室では、入門から上級までさまざまなレベルの学習者が学習しています。言語の習得だけではなく、各国の文化、習慣について話したり、日常生活の情報交換をしたりしています。今後も、お互いの文化を認め合い、助け合える関係をつくっていく拠点にしていきたいと考えています。

日本語ボランティアのためのレベルアップ講座

実行委員長 成原 文子

約2年ぶりのレベルアップ講座を、2025年12月6日（土）から2026年2月7日（土）までの全8回、宇都宮市民プラザで開催し、21名の方が受講しました。

レベルアップ講座は養成講座を修了された後、活動しているうちに、もっと勉強したいと希望する支援者が多いことから始まりました。今回のテキストは「初級日本語文法総まとめ ポイント20」でした。

日本語を教える経験のある方は、日本語学習支援ボランティア養成講座の中で、日本語支援は、ただ文法を教えることではないと教わりますが、ただ教える側は、それをきちんと理解しておく必要があります。今一度頭の中を整理する意味で、今回のレベルアップ講座を開講することになりました。

講師は各所で活躍されている牧原紀子氏、鈴木綾子氏にお願いしました。

講師陣は、【本講座で常に意識したいこと】として「**学習者が自分を表現できるようになるための日本語支援を考える**」を挙げられました。常に「**場面**」を考え、その場面で使われそうな例文を3～5つ書き出す。そのための事前課題も出されました。

実行委員の感想も「常に日常生活の中で使える日本語として、いかに支援するかを学べたし、重要な文法は、きちんと押さえ、ロールプレイ活動もあり楽しく学べた」や、「今日学ぶ目標に焦点を当て、広げ過ぎず混乱を避ける指導を心がけることを学べたし回数も適切であった」等々です。

最後に「**文法は言いたいこと、伝えたいことをサポートする**」のものであると講師は言われました。楽しく実りある講座だったと思います。

日本料理教室 お正月料理をつくりましょう！

～ カップちらし寿司 & 天ぷら ～

参加者 坂本 ベアトリス

2025年12月14日（日）、宇都宮市総合コミュニティセンターで開催されました私の大好きな日本料理教室に今年も挑戦しました。19名の方々が参加しました。

ずっと作ってみたいだったあの有名な「ちらし寿司」を作ることが出来、様々な国の方々と分かち合う素晴らしい機会となりました。

講師の方々の指導のおかげで「ちらし寿司」の本来の味を引き出すことが出来ました。美味しい天ぷらも作りました。



チーム一丸となり、味と見た目の両方においても最高のものを作り上げ、食材の持ち味を最大限に引き出すことに尽力しました。

日本文化に浸りながら、料理の秘訣や重要な調理法を学ぶことができたことは、今後の日本料理を作る際の礎となると思います。

日本の素晴らしい味を堪能しながら、実際に料理を作り、味わうことは、信じられないほど満足感がありました。

参加者が素晴らしい料理を作ることが出来たのは、献身的な姿勢と忍耐力によるものであり、宇都宮市国際交流協会と講師の方々のご尽力のおかげです。



世界の絵本を楽しもう！

実行委員 熊倉 シゲ子

第16回「世界の絵本を楽しもう！」は、2025年11月30日（日）、午後1時30分～午後3時30分まで、宇都宮市立東図書館2階集会室において開催されました。

いろいろな国の絵本や文化を紹介するこのイベントは、絵本を通して、世界にはさまざまな言語があること。その国に伝わる話を題材にした絵本や、暮らし、食文化が垣間見えることもあります。日本とは異なる色使いや絵柄のものも多くあります。



各国の絵本読み手ボランティア

今回は、デンマーク（デンマーク語）、フィリピン（タガログ語）、インド（英語）の3か国でした。ネイティブの方から、それぞれの国の様子、料理などの紹介があり、いよいよ絵本の紹介です。

デンマークの絵本「つきのぼうや」

『空の上にいるお月さまが、地上の池の水に映ったお月さまを連れてきてほしいと、月のぼうやにお願いしました。・・・ぼうやは空にいるお月さまに地上のお月さまを連れて帰ることができるのでしょうか?』

フィリピンの絵本「わたたまたご」

ミフウズラの夫婦が大切にしていた卵が割れていました。そばにウマの足跡があったので、夫婦はなぜ巣を踏んだのか、理由を聞きにウマのところに行きました。ウマはニワトリが騒いだせいでいい、ニワトリはサルがヤシの実を落としたせいでいいといます。次々追いかけて原因を積み重ねていく物語。

インドの絵本「ガジャパティ・クラパティ」

ガジャパティ・クラパティ（象）の大きな「アチュー！」というくしゃみが、村に大混乱を巻き起こします。彼のくしゃみで、バナナ売りのバナナが飛び散り、配達員の頭に落ち、配達員は牛にぶつかり・・・

今年の参加者は、114名（子ども・大人）でした。民族衣装の紹介、展示コーナー、クイズ、ネイティブとの交流（人間知恵の輪で盛り上がり）等楽しんでいただきました。

今年の工夫したことは次の3点でした。

- 1 「世界の絵本を楽しもう！」のチラシ・・・内容が分かるように前年度の写真を掲載。
- 2 東図書館入口に、関係国に関する民族衣装や品物を展示・・・とても好評でした。
- 3 開始前にインドのコーラム（米粉の床絵）体験・子ども達は熱心に取り組んでいました。

「世界の絵本を楽しもう！」にご協力いただいたネイティブの方、ボランティアの方々、東図書館に感謝いたします。



コーラム体験



インドの読み聞かせ



フィリピンの読み聞かせ



〇×ゲーム

日本文化ふれあいの会

実行委員 大高 京子

2026年3月1日（日）、23回目の「日本文化ふれあいの会」が、宇都宮市役所14階大会議室で開かれました。宇都宮市国際交流協会には、1月下旬頃から、開催日時や内容について多くの問合せが寄せられていました。



はじめての書道体験

メイン会場となる大会議室には、8つの体験コーナーが設けられ、6つのステージ演目が行われました。

茶道のコーナーでは、お点前を見せて頂きながら、お菓子とお薄（薄茶）をゆったりと楽しみました。

華道のコーナーでは、初めての日本の華道に心を躍らせる姿が見られました。

書道のコーナーは、真剣そのもの。丁寧に作品を仕上げていました。

ミニぞうりのコーナーでは、老若男女、可愛らしいマイミニぞうりを作り、ご機嫌な様子でした。

絵手紙のコーナーでは、じっくりと対象を見つめ、落ち着いて線描きや着色に取り組んでいました。

ちぎり絵のコーナーでは、色や形に工夫をこらしながら、にこやかに作品を仕上げていました。

着物着付けコーナーでは、美しく豪華なお振袖を身にまとった姿に会場内からは感嘆の声があがり、そこかしこからカメラが向けられていました。

栃木のお米試食コーナーでは、おにぎりを作りました。中に入れる具材を自分で選び、炊き立てのご飯で作ったおにぎりを、美味しく頬張りました。



着物着付け披露



はじめての茶道体験



はじめての華道体験



はじめてのちぎり絵体験

ステージ演目は、着物着付けの披露から始まり、和太鼓、外国人によるスピーチ、お囃子、花嫁行列と長持唄、中国武術と日本空手、そして急遽、参加者からの申し出で披露されたインド舞踊が披露され、華やかな雰囲気の中で終演となりました。毎年好評の演目で、日本人、外国人、大人、子供を問わず、多くの方々の目を釘付けにしていました。



日本空手披露

会場の参加者からは、「また参加したいな」、「自分でも家でやってみようかな」との声が、沢山届けられました。見て、聞いて、触れて、香りを感じて、味わって。みんなの笑顔でいっぱいになった「日本文化ふれあいの会」でした。



花嫁行列・長持唄



親子で和太鼓体験



お囃子演奏



会場から申し出があったインド舞踊

お知らせ

フェスタmy宇都宮2026国際交流ひろば

開催します！！

日時：令和8年5月17日（日） 10:00～15:00（雨天決行／荒天中止）

会場：宇都宮城址公園

内容：UCIA 日本文化委員会、UCIA 姉妹都市交流委員会、UCIA ホストファミリー委員会、けんちんの会、ボランティアなかま、宇都宮市タルサ協会、宇都宮キワニスクラブ、NPO 法人国際ブリアー、宇都宮 SGG クラブ、ヒッポファミリークラブの11ブースが出展します。各団体の活動紹介や出展内容にちなんだ物販や写真展示などがあります。皆様、ぜひ会場までお越しください。



研修会・講演会等の『貸ホール・会議室』！
祝賀会・懇親会等の『ご宴会・Party』！
合宿・ビジネス・旅行等の『ご宿泊』！



お客様のご利用を一同お待ちしております！

コンセーレ

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1番6号
財団法人栃木県青年会館
TEL.028(624)1417(代) FAX.028(624)1843
http://www2.ocn.ne.jp/~concere/
E-mail:concere@olive.ocn.ne.jp

●● 広告募集について ●●

UCIA では、定期的に会報誌を発行しています。広告掲載をご希望の方は UCIA へお問い合わせください。

- ◆ 費用 5,000 円/回
- ◆ サイズ 6cm×8.5cm

ホームページでも、広告バナーを募集しております。詳細は、
広告バナーページ(<https://www.ucia.or.jp/advertisement.html>)をご覧ください。

- ◆ 費用 3,000 円/月
- ※ 3 か月から掲載可能です。

2026年3月25日 第74号
編集・発行 NPO 法人宇都宮市国際交流協会
〒320-0026 宇都宮市馬場通り4丁目1番1号
うつのみや表参道スクエア5階
国際交流プラザ内
Tel: 028(616)1870 Fax: 028(616)1871
受付時間: 10:00～20:00
E-mail: ucia@ucia.or.jp
URL: <https://www.ucia.or.jp/>

UCIA 会員募集

会員になりますと、
以下の特典があります。

様々な国際交流の
ボランティアに参加
できます。

講座の受講料が割引
になります(一部の
講座を除く)。

定期的に情報誌を
お送りします。